

## 日本あちこち河川遡行記（第292回）

奈良1-8. 寺川（その3）前半 令和1年10月11日（金）曇り一時雨



01.今回調査区間位置図

寺川の残りの区間の遡行に出かける。台風19号接近による雨が心配だが夕方までは持つと判断していつものこだまに乗車。今日は旅行会社の団体が無いのかいつもよりも空いている。

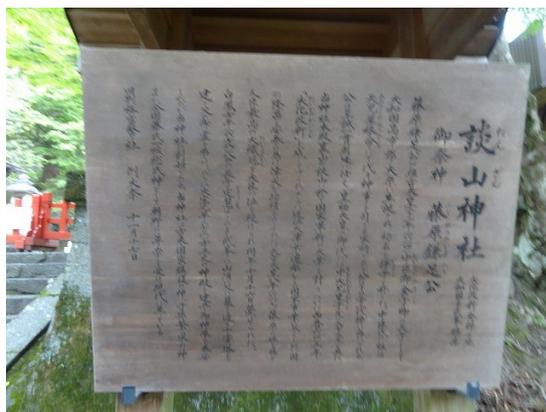
難波からは10時発の名古屋行きアーバンライナーに乗車。これに乗らないと桜井駅からのバスに間に合わないので520円を支出せざるを得ない。八木駅で隣の急行に乗り継ぎ桜井駅で下車。大和川本流遡行時には駅北口に向かったが、今日は南口に向かう。エスカレーターに乗り直ぐ横のJRの橋上駅を通り抜け南口のエレベーターで降りる。すでにこれから向かう談山神社行きの桜井市コミバスが待っている。コミバスと言っても奈良交通のバスをそのまま使用し、運賃も距離比例式のままで神社まで500円もする。バスの車体に小さく書かれた桜井市コミバスの字を見なければ奈良交通の普通の路線バスである。乗客10数人を載せ10時50分に発車。談山神社行きなので6名ほどの老人の観光客が乗っている。全然コミバスの雰囲気とちゃうやんか！



02.桜井市のコミバスは奈良交通が運行 03.桜井駅南口から談山神社に向かう

11時16分坂道を登り広い駐車場の片隅のバス停に着く。寺川を調べるのなら川の上流部に有る未だ行ったことの無い談山神社を訪れない選択肢は無いやろ！というわけで今日は逆逆行で標高480mの神社から標高80mの桜井まで下ることにした。8kmほどの距離で400mも下るのだ。神社は「多武峰」地区の「御破裂山（H=607m）」の南山裾に在る。多武峰は「とうのみね」と読む難読地名だ。破裂山とは凄まじい名前の山だな。

バス停から石段を下り参道に降りる。東西に連なる参道の神社入り口近くの石灯籠に解説板が付いている。後醍醐天皇寄進の灯籠で重文である。この神社重文だらけなのだ。鳥居の傍には神社の解説板が有る。「だんざん」と読んでいたが濁らずに「たんざん」と読むようだ。拝観料を収める受付で聞くと、「昔はだんざんと言っていました」とのことである。談合問題が起こったのでたん」と読み替えたのかな。



04.この石灯籠只者ではありませんぞ

05.談山神社は藤原鎌足を御祭神としている



06.この鳥居から石段を上がる

表参道の石段を上がると途中にバリケードが有り左折し拝観料を払う受付に誘導される。参拝者が少ないときは鳥居横の受付は締め切り、西側の受付で一

括徴収しているようだ。600円也を収めると目の前に神社を取り囲む杉の大木が目に入る。流石吉野杉の入り口だ。神社名の談山の名前は、藤原鎌足と中大兄皇子とが多武峰で大化の改新について談合したことから付いたようで、談合即悪でもないぞ。



07.境内には樹齢数百年の杉が多くある 08.談合は鎌足と中大兄皇子の談義が基に

石段を上がり右に曲がると現れました、神社を代表する建物の十三重の塔が！名物のモミジと桜の木々の間に端麗な姿を見せてくれる。十三の数字に特別な意味があるのかも知れない。

十三と言えば母校（高校）は十三にあるが、その母校の後輩が今年のノーベル化学賞を受賞した。いつかは卒業生から受賞者が出て来るかと思っていたが出ました！当方と同性の博士も数年前に化学賞を受賞しており、間接的であるが目出度いことである。この賞は高度な内容の論文、実績と社会への貢献度そして運が無ければ受賞できない。それにして西高東低である。東は頭が固いのかな？



09.現れい出し十三重の塔  
だ



10.もみじに囲まれた塔、紅葉はまだ

近づいてよく見ると一番下の屋根だけが大きく迫り出している。今の塔は再建されたものなので国宝にはなっていないが、世界にただ一つのユニークな塔で実質国宝と思う。



11.重文だけど国宝でも良いのに



12.一番下の屋根だけ大きいぞ



13.十三重の塔は世界でここだけ

東に進むと回廊に囲まれた拝殿とその北側に本殿が朱色鮮やかに向かい合っている。靴を脱がないと拝殿には行けないので両方が見られる門の前で参拝する。



14.本殿参拝はこちらから回廊を  
通って 拝殿から



15.左が本殿、右は拝殿

社務所で買ったクリアホルダーに花梨と狐が描かれていたので神官に聞くと、花梨は鎌足の長男の僧定慧和尚が唐から持ち帰った木で狐は鎌足のお使いとのことで、直ぐ近くにその花梨の木があるので見に行く。多くの実がなっている。長居は出来ないので本来の橋の調査に変身する。紅葉真っ盛りの時にまたあの姿を見てみたいものだ。



16.鎌足の長男、定慧和尚じょうけいが唐から持ち帰った花梨の木 17.紅葉真っ盛りの時に再訪したいな

[ 続く ]